

科目番号	科目名	担当者名	教養・専門 資格・教職	単位数	選択・必修	開講年次 ・時期
L1	法学 Introduction to Jurisprudence	村林 聖子	教養	2	選択	1年春
科目の概要						
<p>この科目では、法とは何かについて考察します。 中学校や高校での校則や交通ルールなど、法は私たちが縛りつけるものであると意識する場面が多いかもしれません。しかし法は、日々の暮らしを成り立たせているものでもあります。 私たちの日々の暮らしに法がいかに関係しているかを学び、考察します。 法という存在の意義を認識し、マネジメントに欠かせない視座を得ることが本講義の目的です。</p>						
学修内容			到達目標			
基本的な知識を理解する。 日々の暮らしを法的視点から認識する。 様々な出来事を法的視点から認識する。 法的視点から問題を理解する。 法の意味を理解する。			基本的な知識を習得し、適用することができる。 法的視点から日々の活動を把握することができる。 法的視点から様々な出来事を把握することができる。 法的視点から考察することができる。 法の意味を理解し、意見を言語化することができる。			
学生に発揮させる社会人 基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏 み出す 力	主体性	法的視点から現実の諸問題に関心を持ち、自己学修することができる。				
	働きかけ力					
	実行力	法的視点から関心をもった諸問題について質問することができる。				
考え抜 く力	課題発見力	法的視点から問題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	「当たり前」とされていることに疑問を持ち、法的視点から考えることができる。				
チーム で働く 力	発信力	法的視点から整理した内容を、的確な文章で表現できる。				
	傾聴力	他の受講生の質問内容から理解を深めることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	他の受講生の受講を妨げない言動をすることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト: 使用しない 参考文献: 適宜指示する 配布資料: あり						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 1年秋以降の法学系科目(現代人権論、民法、商法、行政法、地方自治法、労働法、会社法など)の基礎となる科目です。 本学部で取得できる資格: 教職(高等学校教諭一種免許状 公民)(必修)						
学修上の助言			受講生とのルール			
質問票に対する回答を次回の講義の冒頭にしますので、 講義内容の理解に役立ててください。			講義では毎回質問票を配布・回収します。 新聞やテレビなどの報道内容に関心に向けながら講義に 出席し、積極的に質問をすること。 他の受講生の受講を妨げないこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)実技・口述試験		①		仮成績よりもよい成績を望む場合、定期試験期間中のレポート試験を受けることができます。 レポート試験課題は、15回目の講義時に提示します。		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		90	①	✓	ミニテストを3回(第8週、第12週、第14週)行います。 第15週の講義で仮成績を示します。 仮成績よりもよい成績を望む場合、定期試験期間中のレポート試験を受けてください。(上記参照)。	
					②	✓		
					③	✓		
					④	✓		
					⑤	✓		
		レポート				①		
						②		
						③		
						④		
						⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)				①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	主体性 報道内容や身の回りのことにも目を向けることができる。 実行力・傾聴力 質問票への記入を積極的に行い、回答をよく聴くことができる。 創造力 当たり前だと思わずに疑問を持ち考察することができる。 課題発見力・発信力 法的問題を見極め、それを言語化することができる。 規律性 他の受講生の受講を妨げない言動をすることができる。		
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>基本的な理解ができていること。 法のかかわりを適切に把握していること。 法がいかにあるべきかを考え、わかりやすく記述していること。 S(秀)は上記に加え、現実のニュースなどを適切に理解していること。</p>	<p>基本的な理解がほぼできていること。 法のかかわりをほぼ把握していること。 法がいかにあるべきかを考え、記述していること。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	1. イントロダクション 講義の概要を確認する。 2. 法と社会 (1) 運転免許と交通事故 日々の暮らしと法の関わりについて学ぶ。	講義 質問票の配布・回収	講義の概要について理解する。 運転免許と交通事故と法の関わりを理解する。	(予習) シラバスを確認しておく。 (復習) 運転免許と交通事故と法の関わりを確認する。	90	主体性 創造力 規律性
2週 /	(上記の続き)	質問票への回答 講義 質問票の配布・回収	交通事故の加害者の刑事上 / 行政上 / 民事上の責任について理解する。	(予習) 運転免許と交通事故と法の関わりを確認しておく。 (復習) 特に刑事上 / 行政上 / 民事上の違いを確認する。	180	実行力 傾聴力 創造力
3週 /	(2) 法の分類 公法 / 私法 / 公私混合法について学ぶ。	質問票への回答 講義 質問票の配布・回収	法のカテゴリーと公権力のかかわり方について理解する。	(予習) 運転免許と交通事故と法の関わりを確認しておく。 (復習) 特に、公権力のかかわり方について確認する。	180	実行力 傾聴力 課題 発見力
4週 /	(3) 近代法と現代法 公法 / 私法という区別の意味について学ぶ。	質問票への回答 講義 質問票の配布・回収	公法と私法の区別の意味について理解する。	(予習) 公権力のかかわり方について確認しておく。 (復習) 公法と私法を区別する意味を確認する。	180	実行力 傾聴力 課題 発見力
5週 /	3. 法と強制 (1) 刑罰 犯罪に対する制裁について学ぶ。	質問票への回答 講義 質問票の配布・回収	公権力による強制について理解する。	(予習) 公法と私法を区別する意味を確認しておく。 (復習) 刑罰という形での公権力による強制について確認する。	180	実行力 傾聴力 課題 発見力
6週 /	(2) 行政罰と行政処分 行政上の義務違反に対する制裁について学ぶ。	質問票への回答 講義 質問票の配布・回収	刑罰と行政罰と行政処分の違いを理解する。	(予習) 刑罰について確認しておく。 (復習) 行政罰と行政処分という形での公権力による強制について確認する。	180	実行力 傾聴力 課題 発見力
7週 /	(3) 強制執行、損害賠償 私人間の紛争解決方法としての強制について学ぶ。	質問票への回答 講義 質問票の配布・回収	私人間の紛争解決について理解する。	(予習) 行政罰と行政処分について確認しておく。 (復習) 私人間の紛争解決としての公権力による強制について確認する。	180	実行力 傾聴力 課題 発見力
8週 /	「運転免許と交通事故」の例に戻り、理解を確認する。また関連する新聞記事なども検討する。 ミニテスト	質問票への回答 講義 質問票の配布回収	強制執行や損害賠償などの違いを理解する。	(予習) 私人間の紛争解決方法としての強制について確認しておく。 (復習) 関連するニュースや新聞記事を確認する。	180	実行力 傾聴力 課題 発見力

回数	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	4. 法と裁判 (1)裁判 刑事・民事・行政の裁判について学ぶ。	質問票への回答 講義 質問票の配布・回収	裁判と刑事・民事・行政の区分を理解する。	(予習)公権力による強制について確認しておく。 (復習)刑事・民事・行政の区分を確認する。	180	実行力 傾聴力 課題 発見力
10週 /	(2)刑事裁判 刑事裁判について学ぶ。	質問票への回答 講義 質問票の配布・回収	刑事裁判について理解する。	(予習)刑事・民事・行政の区分を確認しておく。 (復習)刑事裁判について確認する。	180	実行力 傾聴力 課題 発見力
11週 /	(3)民事裁判 民事裁判について学ぶ。	質問票への回答 講義 質問票の配布・回収	民事裁判について理解する。	(予習)刑事裁判について確認しておく。 (復習)民事裁判について確認する。	180	実行力 傾聴力 課題 発見力
12週 /	(4)行政裁判 行政裁判について学ぶ。 ミニテスト	質問票への回答 講義 質問票の配布・回収	行政裁判について理解する。	(予習)民事裁判について確認しておく。 (復習)行政裁判について確認する。	180	実行力 傾聴力 課題 発見力
13週 /	(5)裁判外紛争解決 調停・仲裁・和解、ADRについて学ぶ。	質問票への回答 講義 質問票の配布・回収	裁判外の紛争解決方法について理解する。	(予習)特に民事裁判と行政裁判について確認しておく。 (復習)裁判外の紛争解決方法について確認する。	180	実行力 傾聴力 課題 発見力
14週 /	(6)裁判員制度 裁判員制度について学ぶ。 ミニテスト	質問票への回答 講義 質問票の配布・回収	裁判員制度について理解する。	(予習)特に刑事裁判について確認しておく。 (復習)裁判員制度について確認する。	180	実行力 傾聴力 課題 発見力
15週 /	5. まとめ 講義全体のまとめを行う。 * 試験問題について提示し、確認を行う。	質問票への回答 講義 質問票の配布・回収	講義全体の内容について理解する。	(予習)これまで配布した資料を踏まえ、試験問題に取り組むこと。	270	主体性 創造力 発信力

能力名：①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力
⑨柔軟性 ⑩情況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力